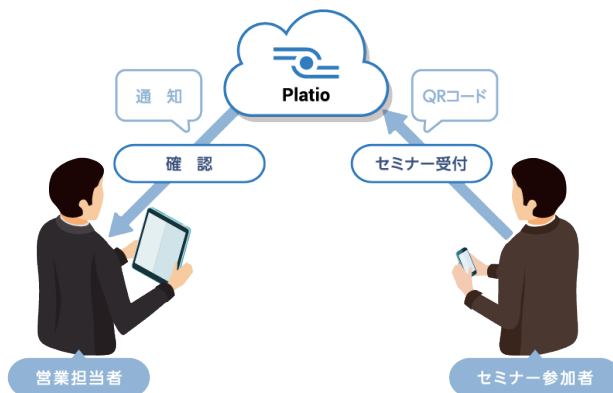




セミナー受付

セミナーなどのイベントの受付業務を行うテンプレートです。

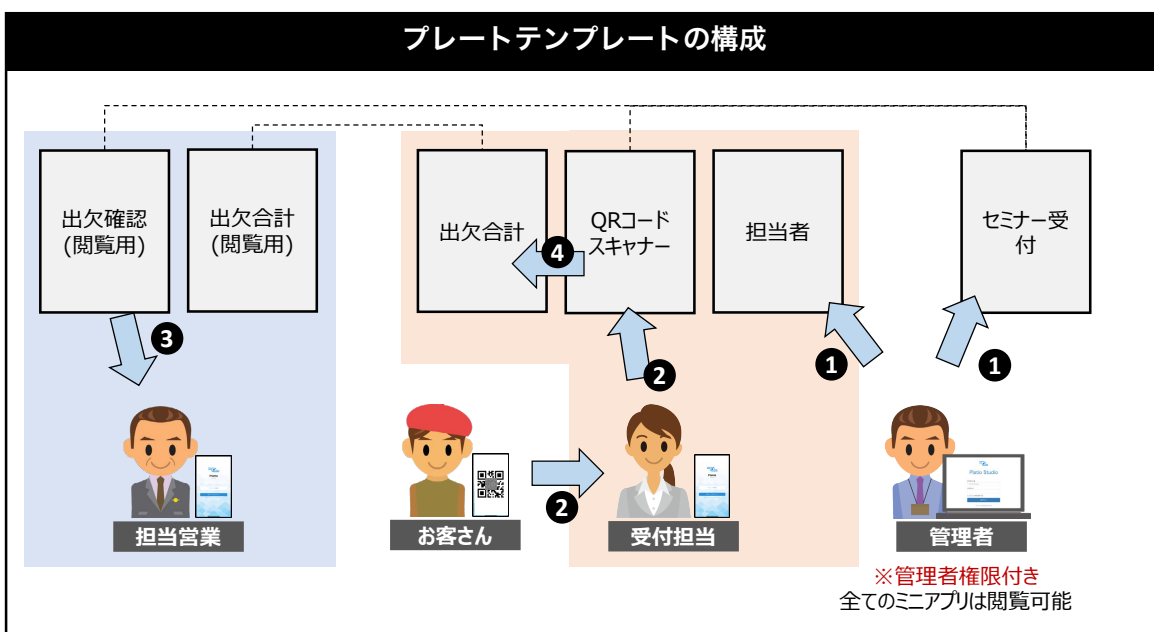
セミナー申込者情報と担当営業情報を登録し、申込者に受付用のQRコードを配布します。来場時に、受付で事前に発行したQRコードを提示してもらい、自動的に担当営業にアattend依頼を通知します。



利用の流れ

1. 管理者が“セミナー受付” ミニアプリにセミナー名、お客様ID、お客様氏名、お客様メールアドレス、お客様会社名を登録すると、Platioが自動的に受付用のQRコード生成してお客様に送信します。
2. お客様が来場する際、受付担当がお客様持参したQRコードをスキャンして、出欠のスイッチをタップすることでステータスが“出席”に変更されます。
3. 各受付レコードに担当営業を指定し、通知機能を有効すると、出欠スイッチが“出席”になったタイミングで、指定された担当営業にお客様の来場が通知されます。
4. “セミナー受付” ミニアプリに登録された“出席・欠席”数が自動で集計されます。

プレートテンプレートの構成



使い方に進む前に、まずは…セミナー受付プレートテンプレートをデプロイしましょう！

※プレートテンプレートのデプロイについては[スタートアップガイドのP13~P16](#)を参照してください

使い方

1. デプロイしたプレートにログインします

Data Console

| | |
|------------|------------|
| admin1 | デフォルト（管理者） |
| reception1 | 受付 |
| sales1 | 営業 |

セミナー受付のプレートには3つのサンプルユーザーが付属しています。まず始めに**Data Console**に管理者権限の **admin1** でログインします。

2. 営業担当の情報を登録します

| | |
|--------|--------------------------|
| 名前 | インポートできるCSVファイルの例 |
| 出欠合計 | 担当者,SlackID,部署,ユーザー |
| セミナー受付 | "鈴木一郎", "", "", "sales1" |
| 担当者 | |

※「担当者」、「ユーザー」は必須項目
※「ユーザー」の値は重複を許さない

ログイン後、アクセスできるミニアプリが一覧表示されます。「**担当者**」をクリックします。画面の右上にある「**インポート**」をクリックします。

表示されている例と合わせてCSVファイルを作成して、**担当者氏名**及び**担当者のユーザーアカウント**を記入します。CSVファイルをインポートします。

インポート後、Data Consoleの左上にある「**ホーム**」を選択して、ミニアプリ一覧画面に戻ります。

3. セミナーの参加者情報を登録して、お客様にQRコードを配信します

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名前 | インポートできるCSVファイルの例 |
| 出欠合計 | セミナー名, ID, 会社名, 氏名, お客様メールアドレス, 座席番号, 出欠, ステータス, 受付日時, メモ, 担当者, 担当ユーザー, プッシュ通知, 案内メール送信済み |
| セミナー受付 | "体験セミナー", "ID1", "会社名1", "氏名1", "guest@example.com", "", "", "", "", "", "鈴木一郎", "", "", "" |
| 担当者 | |

※「セミナー名」、「ID」、「担当者」は必須項目
※「ID」の値は重複を許さない

ミニアプリ一覧で「**セミナー受付**」をクリックします。画面の右上にある「**インポート**」をクリックして、表示される画面の右下にある「**インポート（添付ファイルなし）**」を選択します。

表示されている例に合わせて、**セミナー名、お客様情報（ID、会社名、氏名、お客様メールアドレス）**及び**担当者名**を登録したCSVを作成しインポートします。

受付用のQRコードを自動生成し登録されたお客様メールアドレスに送信します。

4. 来場するお客様のQRコードをスキャンして、出欠スイッチをタップします

アプリ



Platioアプリに受付担当の **reception1** でログインします。お客様が来場する際、「**QRコードスキャナー**」のミニアプリでお客様が持っているQRコードをスキャンして、お客様のレコードを表示します。**出欠**をタップするとステータスが「**出席**」に変更されます。

5. お客様の出席通知が担当営業に飛びます



担当営業がPlatioアプリに **sales1** でログインします。お客様が来場し、受付担当が出欠をタップすると、お客様レコードに登録した担当営業に通知されます。
※通知はプレートにログイン中のユーザーに表示されます。ログインしていないユーザーには通知が飛びません。

6. 出席・欠席の人数を自動的に計算します



「出欠合計」のミニアプリに「**出席**」「**欠席**」数が自動的に集計されます。

※Data ConsoleでインポートしたCSVファイルは空の状態が表示されます。受付担当がレコードを編集画面で見る、もしくは営業担当が編集後の画面を見ると、ステータスが表示されます。

それでは実際に使ってみましょう！